

■ 看護教育の魅力とは？

羽島市医師会准看護学校 大津 美香先生



私は、看護学校で勤務しはじめ3年になります。看護教員となり、一番楽しいと感じるのは学生と過ごす時間です。学生とじっくりと看護について考えることも、臨床では行えない贅沢な時間だと思います。また、教員の職の魅力として、人としての内面がさらに豊かになるように感じます。学生の気持ちに寄り添うことで、いろいろな気づきがあったり、いろいろな角度から物事をみられるようになりました。悩むこともありますが、人とじっくり向き合い、人の成長を感じることでできる素敵な職業だと思います。これからも、学生と共に成長していきたいと思っています。

大垣市医師会看護専門学校 北村 美恵子先生



看護師を目指す学生は、毎日、目をキラキラさせながら看護学を学んでいます。そんな学生に対し看護教員は学習以外の面も含め、サポートしていきます。実習で学生の看護に対し「有難う」という言葉を患者様から頂けた時は、教員にとっても最高の瞬間です。そして卒業式で看護実践の場に飛び立つ学生の姿を見る時が、看護教員にとって「やって良かった」と心から思える時です。皆さんも私たちと一緒に、夢を叶えたい学生を育てていきませんか。

県立多治見看護専門学校 長濱 紀代先生



私が看護教員になりたかった理由の一つに実習指導での経験があります。看護学生は実習の期間中、一人の患者様にとことん向き合って、患者様にとってより良い看護とは何か自問自答し、悩み続けます。学生ならではのみずみずしい感性から生まれる発見もあります。学生は、臨床の現場で日々忙しく働いていた時に忘れかけていた事を、私に教えてくれました。私は、この経験から看護基礎教育に関心を深め、専任教員養成講習会を受講しました。現在、専任教員としての勤務を始めたばかりで試行錯誤の毎日ですが、学生とのやり取りはとても楽しいです。学生が少しずつ成長していく姿を見ると、関わることができて良かったと心から感じることができます。これから看護師になる人たちが育成するという重大な責任も感じますが、同時に大きなやりがいも感じることができる仕事だと思います。

■ 卒業生から見た看護教員の姿

岐阜県総合医療センター 看護師 横山 文香さん

(県立衛生専門学校卒)

私は就職して5年目になります。先生は、実習のカンファレンスで患者さんの状況や思いを学生と一緒に涙を流しながら聞き、一人の患者さんに対してどんな看護ができるかを一緒に考えてくださいました。患者さんのことを親身になって考えてくださる先生の姿をみて、優しく患者さんの心に寄り添える看護師になりたいと思いました。また、学生の考えを引き出しながら、看護の方向性を見出すよう指導していただき、とても支えになったことを覚えています。看護師になった今、そんな先生の姿が自己の看護観につながっています。

■ 実習指導者から見た看護教育の魅力

下呂温泉病院 看護師 仲 祐介さん

病院の実習指導では、学校の教員と統一した指導を行うため情報交換を密にしながら学生指導を行っています。学校では、概論など教科書的な学びとなりますが、実習では実際の患者さんと関わり臨床現場を肌で感じる事が出来ます。実習は学生にとって時に辛いものではありますが、その中でいかに看護はやりがいがあり、臨床現場で働くことの素晴らしさを伝えるかが実習指導者として大切なことの一つであると私は思います。一方的に指導する立場でいるのではなく、学生の新鮮な視点・考えから自分の看護というものを振り返ることができ、新しい発見ができます。学生と共に自分も成長できることが看護教育の魅力の一つであると思います。



発行／専任教員養成講習会についてのお問い合わせ

岐阜県健康福祉部医療整備課看護係

電話：058-272-1111(内線2538)

清流の国ぎふ